



京都教区時報



京都教区広報委員会
 編集長 村上透磨
 京都市中京区
 河原町通三条上る
 TEL 075-211-3468
 FAX 075-211-4345
 kouhou@kyoto.catholic.jp

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

2頁～3頁 2017年 京都教区・奈良ブロック 聖書講座 案内

4頁～5頁 家庭と婚姻 パートII 家庭における信仰伝達②
 日常生活の中で子どもに伝える 講師 古本みさ師

点訳版「京都教区時報」〈無料〉
 ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。
 TEL・FAX 079-431-8601

2017年 司教年頭書簡 「主こそ、わが光」

ユスト高山右近にならう聖性への道のり

ユスト高山右近にみるマルチルの聖性

右近から学ぶことは、わたしたちが神の手の中でその道具となるため、自分の力に頼る自我を捨て、あわれみに満ちた愛を注いでくださる神に自分をささげることです。信仰の世界は、自分が自分の力でこれだけのことを成し遂げたという世界ではありません。神が働いていくと、そこに自分をゆだねっていく世界です。神の愛によって自己が変えられていくことに身を任せ、自分の霊的な熱意を他者への愛に向けていく、これが右近の聖性への道であり、すべてのキリスト者の召命にあてはまることです。

現代は相対的価値観に支配され、信念を貫いて生きることが困難な時代です。そして、さまざまな生き方の選択肢を用意しながらも弱肉強食の競争社会であり、生きるために自己責任が問われ、才能や能力の有無という価値観で負け組・勝ち組を振り分けようとする時代です。そのような時代に生きるわたしたちは、右近を聖性への道しるべにして、どのような状況に置かれて

も、神への愛と他者のいのちを大切に
 する聖性への道を選び、ぶれることなく福音に
 従う生き方を歩み続けたいと思います。
 (年頭書簡より)



ユスト高山右近列福式
 2017年2月7日(大阪城ホール)

2017年度 京都司教区聖書講座

聖書で祈る

—高山右近にみる福音的生き方—



高山右近壁画
スペイン・マンレサ
聖イグナチオ洞窟教会

期 間：2017年5月～12月 (全13回、8月休講)
日 時：(水) 19:00～20:20 (木) 10:30～11:50
会 場：カトリック河原町教会地下 ヴィリオンホール

	水・夜	木・昼	テーマ	講師
1	5/17	5/18	聖書にみる右近の生き方	大塚 喜直 (京都教区司教)
2	5/24	5/25	出会いの神秘	澤田 豊成 (パウロ会)
3	6/7	6/8	苦しみの神秘	村上 透磨 (京都教区)
4	6/21	6/22	復活の神秘	一場 修 (マリスト会)
5	7/5	7/6	神のみに仕えよ	柳田 敏洋 (イエズス会)
6	7/19	7/20	祈りと人生	中川 博道 (カルメル会)
7	9/6	9/7	聖書における右近の現代的意義	古巢 馨 (長崎教区)
8	9/20	9/21	伝えるつとめ	阿部 仲麻呂 (サレジオ会)
9	10/4	10/5	世話をするつとめ	白浜 満 (広島教区司教)
10	10/18	10/19	祈り、とりなすつとめ	西 経一 (神言会)
11	11/8	11/9	下りていく生き方	北村 善朗 (京都教区)
12	11/29	11/30	今、キリストを証しする	鈴木 信一 (パウロ会)
13		12/7	感謝と派遣のミサ	聖書委員会

会 費：4,000円 郵便振込みにて5月1日(月)までに下記宛
振込口座 00910-9-148401 京都教区聖書委員会
問合せ：TEL. 075-211-3484(水、木の10時～16時)
FAX. 075-211-3910 e-mail: seisho@kyoto.catholic.jp
主 催：京都司教区聖書委員会

2017年 奈良ブロック聖書講座 「みことばを生きるために」 シリーズ 15
 テーマ 「真福八端 マタイによる福音 5章3節～10節」
 —— 教皇フランシスコ、福者高山右近、聖なる人々と共に ——

講 座 の 内 容

回	金曜夜コース	土曜昼コース	各講座のテーマ	講 師
1	4月21日 八木教会	4月22日 奈良教会	5：3 心の貧しい人々は、幸いである、 天の国はその人たちのものである。 5：5 柔和な人々は、幸いである、その 人たちは地を受け継ぐ。貧しい、 柔和、天の国、地とは。	柳田 敏洋 神父 イエズス会
2	5月12日 郡山教会	5月13日 奈良教会	5：4 悲しむ人々は、幸いである、 その人たちは慰められる。 …… 悲しみ、慰めとは ……	鈴木 信一 神父 パウロ会
3	5月26日 八木教会	5月27日 奈良教会	5：6 義に飢え渴く人々は、幸いである、 その人たちは満たされる。 …… 神の義、満たされるとは ……	松田 浩一 神父 カルメル会
4	6月9日 郡山教会	6月10日 奈良教会	5：7 憐み深い人々は、幸いである、 その人たちは憐みを受ける。 …… 憐みとは ……	中川 博道 神父 カルメル会
5	6月23日 八木教会	6月24日 奈良教会	5：8 心の清い人々は、幸いである、 その人たちは神を見る。 …… 清い、神を見るとは ……	クエンジ・カンバタ・ダニエル 神父 淳心会
6	7月7日 郡山教会	7月8日 奈良教会	5：9 平和を実現する人々は、幸いである、 その人たちは神の子と呼ばれる。 …… 神(主)の平和、神の子とは ……	山下 敦 神父 大分教区
7	7月21日 八木教会	7月22日 奈良教会	5：10 義のために迫害される人々は、幸いである、 天の国はその人たちのものである。 …… 神の義、迫害、天の国とは ……	大塚 喜直 司教 京都教区

時 間：金曜夜コース 午後 7:00～8:30 土曜昼コース 午前 10:00～11:30

昼夜コースの内容は同じです。ご都合の良い方をお選び下さい。

持参するもの 「旧約・新約聖書」

参 加 費：3,000円 (全7回) 事前に郵便振込みにてお支払い下さい。

郵便振込口座 = 00990-0-115473 「カトリック奈良地区協議会」

学生及び信者でない方は無料です !!

申込方法：郵便振込をもって申込み受付といたします。

振込用紙通信欄には、お名前、所属教会、電話番号と参加コース名を必ずご記入下さい。

申込締切：4月1日 (土)



主 催：カトリック奈良ブロック協議会 / 協賛：京都司教区聖書委員会

お問合せは、善きサマリア人修道院 服部悦子へ

電話 0742-22-0017 (19時から21時まで)

家庭と婚姻 パートⅡ 家庭における信仰伝達②

日常生活の中で子どもに伝える

講師 古本みさ師

(平安女学院中学校・高等学校
チャプレン)



家庭と婚姻パートⅡでは、家庭での子どもへの信仰伝達について、平安女学院中学校・高等学校のチャプレンで聖公会司祭である古本みさ師にお話ししていただきました。

古本師は、子どもに信仰を伝える上で大切なことについて、ご自身が家族から培ってきた信仰や、子どもとの関わりにおいて気づいたことの分かち合いを通して、いくつかのポイントを紹介し、その後、絵本の紹介もしてくださいました。

その中でとりわけ印象的だったのは、古本師がどのように家族から信仰を継承

していったか、またご自身が自分の子どもにどのように信仰を伝えていこうとしたか、という体験談でした。古本師は幼い頃、ご自身の祖母から、戦中戦後の困難や試練をどのように信仰によって乗り越えたかという話を、繰り返し聞かされていたといえます。話の中に表されていた神への感謝と賛美を通して、いつの間にかその信仰の核心を自分のものとして受け継ぐようになっていたというエピソードは、みなさんの心に響くものでした。そして、この証しが、信仰継承にとっても大切なことだと古本師はいます。自分が救われた体験、イエスに出会った時のこと、神がおられるという確信、聖書の真理が自分のものとなった時のことを、子どもたちに分かち合うこと。この証しほど子どもたちに信仰を伝えるのに大きな力となるものはないといえます。連れ合いとの出会い、子どもが生まれ、その子に出会えたことがどれだけ大きな神のみ業であったかを話すことなど、自分にしかできない証しをしていくこと。聖書のみことばを引用したり、自分の頭で考えた説明をしたりしなくても、ありのままの自分を、神の手を



た、自分の体験を分かち合うことによって証しすることが、難しい人にとって、一緒に映画やドラマ、ドキュメンタリーなどを観て感動を分かち合う、という方法も紹介してくださいました。

その他、子どもへの信仰継承のために大切なこととして、食前の祈り、寝る前の祈りなど、簡単な祈りをなるべく小さい頃から習慣づけ、いつでもどんな時でも私たちが祈る姿勢を子どもたちに見せることや、小さいうちから教会と関わることも紹介してくださいました。また、物心ついたときから「私は神様の子どもだ」と確かな信仰を感じることは、

ぎゅっと握ったその時の感動を、話すだけで、言葉で表すことの出来ない神の大きさ、すごさが、子どもにも伝わるのではないかと古本師は指摘しました。ま

幼児洗礼の大きな恵みであること、そして、その意味を洗礼名のお祝いや初聖体を通して、子どもたちに伝えることの大切さを指摘しました。

最後に、古本師が強調したのは、子どもを信じることで神を信じることは、実は表裏一体であるといえます。神との関係があって、子どもとの関係がある。この関係のバランスがとても大切であること、そして、それが子どもに伝わっているということも、同じく大切であることをお話しくださいました。

子どもへの信仰継承にとってカギとなるのは、教理を一方的に伝えることよりも、日常生活のありのままの家族の姿の中に、神がいるということ、子どもが生活の中で感じることで学びました。また、親が信仰者としての姿勢を子どもたちに見せていくことが、信仰を伝えていく上での核心であること、神への感謝と賛美を日常の小さな行いの中で表し、その積み重ねによって家族全体が聖化されていくということに、気づかされました。

福音宣教企画室

3月のお知らせ

教 区

聖書委員会 / Tel.075(211)3484 ㊦㊧

よく分かる聖書の学び

日 時：15日㊦ 10:30

講 師：北村 善朗師 / 参加費：300円

会 場：河原町教会 ヴィリオンホール

福音宣教企画室 / Tel.075(229)6800

絵画を通しての祈り

「カラヴァッジョの作品にみる
聖性と信仰の歩み」

日 時：23日㊦ 14:00

講 師：木村 太郎氏(大阪芸術大学非常勤講師)

大塚 喜直司教

会 場：カトリック会館6階

受講費：300円

修 道 会

男子カルメル修道会(宇治修道院)

Tel.0774(32)7016 Fax.(32)7457

聖書深読黙想(中川 博道師)

日 時：11日㊦ 10:00~16:00

参加費：2,500円

水曜黙想(Sr. ロサ)

日 時：15日㊦ 10:00~16:00

テーマ：家族の保護者聖ヨセフに倣う

参加費：3,000円

キリスト教霊的同伴(松田 浩一師)

日 時：17日㊦ 20:00~18日㊦ 15:00

参加費：6,500円

四旬節の黙想(中川 博道師)

日 時：18日㊦ 17:00~19日㊦ 16:00

テーマ：真に生きる道を探して

参加費：7,500円

諸 団 体

京都カトリック混声合唱団

練 習：5日㊦ 14:00 / 12日㊦ 14:00

25日㊦ 18:00 ミサ奉仕後

カトリック会館6階

コーロ・チェレステ(女声コーラス)

練 習：9日㊦ 10:00 / 23日㊦ 10:00

30日㊦ 10:00

カトリック会館6階

聴覚障がい者の会(どなたでも参加可)

手話表現学習会(聖書と典礼)

日 時：9日㊦ 13:00~15:00

会 場：河原町教会 ヴィリオンホール

心のともしび 番組案内

テレビ(衛星スカパー・ケーブル)スカイ A

毎週土曜日 朝 7:45

新シリーズ「私のキリスト道巡礼記」

出演は橋本 勲師(長崎教区)

ラジオ(KBS京都) ㊦~㊦ 朝 5:55

㊦ 朝 5:15

3月のテーマ「いただく命」

ガブリエル 大塚 乾隆 司祭叙階式

2017年3月20日㊦ 午前10時30分

カトリック河原町教会

※ 5月号の原稿締切り日は3月29日㊦です。

大塚司教の

3月のスケジュール

Schedule of Bishop Otsuka



- 1日⊕ 10:00 メリノール女子学院高等学校
卒業式
- 3日⊕ 15:00 司祭・司牧者チーム会議
- 5日⊕ 14:00 鈴鹿教会 英語ミサ
- 7日⊕ 10:00 長岡幼稚園 感謝の祈り
(河原町)
13:30 「求道者に同伴する信徒」
養成講座パートⅡまとめ
- 9日⊕ 10:00 中央協 常任司教委員会
- 11日⊕ 10:00 京都ノートルダム女子大学
卒業式
- 12日⊕ 14:00 草津教会 スペイン語ミサ
- 14日⊕ 9:30 京都聖母学院小学校 卒業式
- 15日⊕ 10:00 ノートルダム学院小学校
卒業式

- 16日⊕ 14:00 (社福)カトリック京都司教区
カリタス会 理事会
- 18日⊕ 10:00 京都聖母女学院短期大学
卒業式
- 20日⊕ 10:30 ガブリエル大塚乾隆
司祭叙階式(河原町)
- 21日⊕ 14:00 (学法)カトリック京都学園・
京都南カトリック学園 理事会
- 22日⊕ 14:00 (学法)滋賀カトリック学園
理事会(大津)
- 23日⊕ 14:00 講演と祈り
「絵画を通しての祈り」(河原町)
- 24日⊕ 11:00 中央協 列聖推進委員会
- 26日⊕ 10:30 三重・紀伊長島ミサ
- 27日⊕ 15:00 教区保育者研修会ミサ
17:00 侍者合宿
- 28日⊕ 13:30 メリノール女子学院 理事会
- 29日⊕ 11:00 侍者会 召命ミサ(河原町)
- 30日⊕ 14:00 司教顧問会

春プロジェクト

西舞鶴教会 小林 真衣

昨年度から青年センターの新しい取り組みとして始めた春プロジェクト、通称「春プロ」を今年度も5月20日～21日に行います。春プロは、新年度に多くの青年と出会い、分かち合う場を作りたいという思いで企画をスタートしました。昨年度は「Go With Me」のテーマで、神との出会い、神への裏切り、神への回心の3つについて、それぞれ各班で分かち合いをしました。今年度も、多くの青年と分かち合いたいと思い、企画を進めていますので、青年の皆さんぜひ参加してください。そして、青年へのご案内をお願いいたします。詳細などは決定次第、小教区へのお便りのほか、青年センターのホームページや Facebook でもお知らせいたします。



〔青年センター-HP〕 携帯からでもご覧いただけます。 <http://www.kyoto.catholic.jp/seinen/>

青年センターあんでな